

トピック(テーマ)	高梨氏		
ねらい	中野市小館にある高梨氏館跡は、中野市民にとって、質の高い中世遺跡として、誇り高い、また憩いの場ともなっている。高梨氏系譜や高梨氏の盛衰などを調べることにより、城下町としての発展の様相や京文化との関わりを理解する。		
キーワード	高梨正盛 高梨政頼 高梨氏館跡 小館城跡 中野氏 米沢高梨氏 尾張高梨氏 仙台高梨氏 畔上一族 鴨ヶ嶽城跡 鎌ヶ嶽城跡 枯山水		
概要を知るためのツール	1	書名	高梨氏館跡
		著者名	中野市教育委員会
		出版社	ほおずき書籍
		出版年	1993.3.16
		内容紹介	「高梨氏館跡公園」として整備するに先立って、昭和62年(1987)から平成4年(1992)にかけて発掘した調査報告書である。発掘調査によって明らかになった遺構・遺物の位置付けだけでなく、高梨氏の盛衰と京文化との関わりを概観できる。
	2	書名	信濃中世史考
		著者名	湯本軍一／著
		出版社	長野プリントサービス
	出版年	2011.7	
	内容紹介	中世鎌倉時代から戦国時代までの信濃国の歴史に関わる小論をまとめたもの。その中の、「永正の乱と北信濃の情勢」と「信濃高梨氏城下の景観復原」で、高梨氏の国人層としての動向の特色とその理由、居館廻りと城下町としての発展の様相について詳細に論じている。	
資料リスト	1	書名	尾張高梨家とその館跡を守ってきた人びと
		著者名	尾張高梨家とその館跡を守ってきた人びと刊行会
		出版社	北信ローカル
		出版年	2006.12.1
		内容紹介	尾張高梨家の系譜、尾張高梨家の館跡所有のいきさつ、尾張高梨家の旧臣と伝える人々などについて簡潔にまとめている。特に尾張高梨家の系譜では、高梨氏が中野に勢力を広げる過程、高梨氏の一族が尾張藩士となる経緯が分かる。
	2	書名	中野市誌 歴史編 前編
		著者名	中野市誌編纂委員会
		出版社	第一法規出版株式会社
		出版年	1981.3.1
		内容紹介	封建領主として発展した高梨氏は、中野地域に進出して中野氏を滅ぼすとともに、越後との関係を深めることにより全盛期を迎えるが、武田氏の北信濃への進出により没落することになる。これらの一連の動向を順序立ててまとめられている。
3	書名	信濃中世武家伝	
	著者名	田中豊茂／著	
	出版社	信濃毎日新聞社	
	出版年	2016.11.29	
	内容紹介	中世における信濃武士の顔ぶれは多彩であるが、その多くは、その勢力を保ったまま近世に生き残ることは許されなかった。高梨氏もそれらの武士の一つであり、かれらが一所懸命に生きた興亡の歴史、伝来する系譜・家紋などが記載されている。	
雑誌	1	論題名	高梨氏館跡の再検討

	著者名	酒井健次／著	
	雑誌名	高井	
	出版年	2021.5.1	
	巻号頁数	第215号	
インターネット情報	1	サイト名	武家家伝_高梨氏
		URL	www2.harimaya.com/sengoku/html/tnasi_k.html
		概要	高梨氏は、系図上は井上一族となっているが、奥州の阿部氏の流れをくみ、東北から信州へ来住したとする仮説も出されるなど、清和源氏井上氏流とする真偽のほどは明らかではない。
	2	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
		概要	機関内検索すると、高梨氏の領地であった地域や地図がヒットする
	3	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	高梨氏に関連する図書、記事論文などを探することができる
	4	サイト名	長野県市町村史誌目次情報ネットワーク
	URL	http://misuzu-mokuji.net/	
	概要	市町村史誌の目次に高梨氏に関連した項目があるか検索することができる	
新聞	1	記事	中野市有形文化財 尾張高梨家史料
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊 27ページ
		年月日	2017.4.8
	2	記事	中野祇園祭 若殿様 練り歩き
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊 22ページ
		年月日	2014.7.21
3	記事	高梨氏子孫 古文書を市に寄託	
	発行機関	信濃毎日新聞 朝刊 19ページ	
	年月日	2007.2.7	